消防年報

平成 13 年版

蓮田市消防本部
（平成 14 年刊行）

市　制　30　周　年
（キャッチフレーズ）

「思いやる心も広がる伸びゆく蓮田」

は　じ　め　に

平素から消防防災体制の充実・強化につきましては、深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

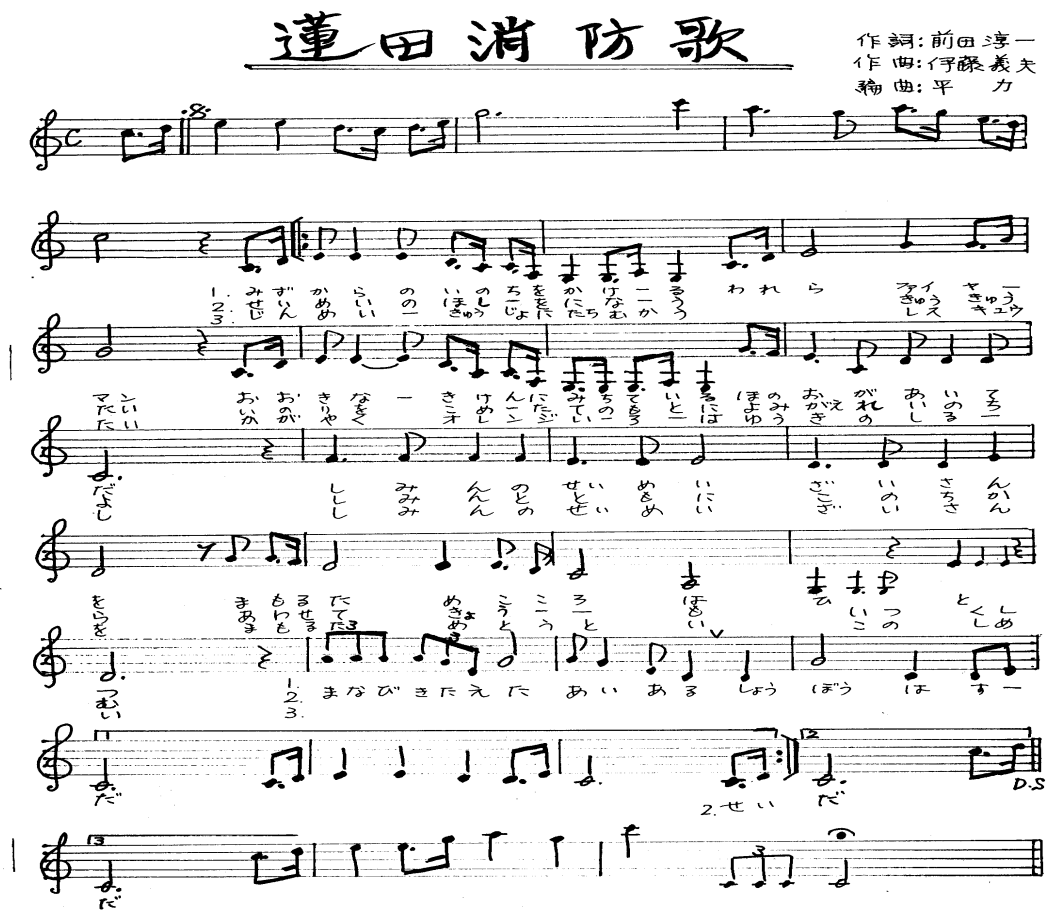
さて、関係各位のご協力により、安全で安心な市民生活の確保と消防行政サービスの要求が多岐にわたっているところですが、頻発する災害の複雑化、大規模化により市民からの防災に対する期待がますます増大しているところでございます。

このような現状において、当市は本年「市制３０周年」の節目を迎え消防行政の更なる飛躍を念願し、市民の信頼に応え、誰でもが安心して暮らせる、「災害に強い街づくり」を積極的に推進しているところです。

この年報は、平成１３年（度）の蓮田市消防本部における主要な消防現況を広く紹介し、消防の実態をご理解いただくと共に今後の消防行政の参考にするために編集いたしました。

平成１４年８月

蓮 田 市 消 防 本 部



蓮田消防歌

作詞 前田淳一
作曲 伊藤義夫
編曲 平　力

一、
自らの命をかける 我らファイヤーマン
大きな危険に満ちている 炎が相手だ
市民の生命財産を守るため 心はひとつ
学び鍛えた愛ある 消防蓮田

二、
生命の星を担う 我ら救急隊
祈りを込めた手の元に 蘇れ命を
市民と共にこの力あわせて 今日も慈しむ
学び鍛えた愛ある 消防蓮田

三、
人命救助に立ち向かう 我らレスキュー隊
輝くオレンジ色は 勇気のしるし
市民の生命財産を守るため 尊いこの使命
学び鍛えた愛ある 消防蓮田

目　　次

蓮田市消防の沿革 …… 1

【式三番】

市勢のあらまし …… 4

消　防　庁　舎 …… 5

消　防　組　織 …… 6

消防相互応援協定 …… 13

消防自動車配置状況 …… 14

消防水利設置状況 …… 16

予　　防 …… 17

保　　安 …… 20

【寅子石の伝説】

気　象　統　計 …… 23

火　災　概　況 …… 24

そ　の　他　出　場 …… 27

救　　急 …… 29

平成13年中の救急出動件数及び搬送人員 …… 29

過去10年間の蓮田市の救急出動件数 …… 34

救助活動状況 …… 35

消　　防　　団 …… 38

☆　蓮田市消防の沿革（過去五年間）

昭和 39 年　　１月　昭和２９年の町村合併以来純農村地帯であった当町にも年々都市化の 波が押し寄せ人口が急激に増加した。
　又、工場・事業所の進出と自動車等の交通量の増加と共に危険物施設等が多くなり、常備消防の必要がせまられ、蓮田町上２丁目１番１４号に蓮田町消防団常備部を設置する。部長に役場消防係、宮澤春雄氏が就任し、外６名の団員で業務を開始する。

（　省　略　）

平成 ９年　　３月　消防団長 須賀伊一氏に消防庁長官より功労章が授与される。
　消防署長補佐 安西勝紀氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
　消防署の消防ポンプ自動車を更新する。
　消防本部に連絡車(スズキアルト)を新規購入し配置する。
　４月　６代目消防長に岡田誠一氏が就任する。
　消防職員４名増員になり実員８４名となる。
　８月　消防署の機構改革により 6 係制が 8 係制となる。
　１１月　防火水槽（耐震性）４０m^3級Ⅰ型１基（大字黒浜７２２）設置する。
　防火水槽（耐震性）６０m^3級Ⅰ型１基（東 5 丁目地内 蓮田駅東口駅前広場）設置する。

平成 10 年　　３月　消防課長 関根幸男氏・分署長 岩崎昌男氏・消防署長補佐 大野勝年氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
　４月　7 代目消防長に吉川秀雄氏が就任する。
　埼玉県内の携帯電話による 119 番通報の受信・転送業務を開始する。
　消防職員３名増員になり実員 86 名となる。
　第 13 回救急救命士国家試験に合格し、2 人目の救急救命士が誕生する。
　１０月　第 2 分団消防ポンプ自動車を更新する。
　１２月　防火水槽（耐震性）４０m^3級Ⅱ型１基（大字馬込・蓮田地内保留地２４－１街区１－１画地）設置する。
　防火水槽（耐震性）４０m^3級Ⅰ型１基（西新宿３－８４）設置する。

平成 11 年　　２月　消防署、高規格救急自動車（日産）を購入し更新する。
　３月　消防課長 齋藤幸男氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
　消防署、指令 2（ホンダステップワゴン）を購入し更新する。

４月　　消防職員１名欠員、１名増員になり実員８６名となる。
消防団長に篠﨑邦明氏が就任する。

平成 12 年　　3 月　　防火水槽(耐震性)４０m³級Ⅱ型１基（蓮田市東２－４　南彩農業協同組合蓮田中央支店駐車場）設置する。
南分署の隣接土地 311 ㎡を購入し敷地拡張をする。
第 5 分団消防ポンプ自動車を更新する。
4 月　　消防職員２名増員になり実員 88 名となる。
８代目消防長に海老原秀男氏が就任する。
８月　　第 21 回埼玉県消防操法大会に消防団第 3 分団が出場し優勝する。
防火水槽(耐震性)４０m³級Ⅱ型１基（上 2 丁目 3695 番地 10）設置する。
１１月　　第 18 回救急救命士国家試験に合格し、３人目の救急救命士が誕生する。
平成 13 年　　１月　　消防職員１名退職により実員 87 名となる。
３月　　消防団第 2・第 3 分団詰所を解体処分し、上 2 丁目 3695 番地 10 に新築する。鉄骨 2 階建、102.06 ㎡
４月　　消防団組織一部改正し 6 ヶ分団制となる。
㈱セイコーアドバンスより連絡車（スズキワゴン R）を寄贈される。
5 月　　消防職員 1 名退職により実員 86 名となる。
７月　　組織改革により署に主幹を置く。
１２月　　防火水槽(耐震性)４０m³級Ⅱ型１基（井沼 851 番地 9　井沼自治会館）設置する。
平成 14 年　　2 月　　資機材搬送車を更新する。（無線呼出名称：蓮田機材１）
消防本部・署庁舎の隣接地を購入し敷地を拡張する。
3 月　　第 5 分団消防ポンプ自動車を更新する。
４月　　消防職員 1 名増員になり実員 87 名となる。

平成１３年の主な出来事

１月　中央省庁等改革による 1 府 12 省庁がスタート
２月　愛媛県の漁業実習船「えひめ丸」がハワイ・オアフ島沖で米原潜「グリーンビル」に衝突され、深さ 620 メートルの海底に沈んだ。遺体収容作業で 8 人が発見されたが 1 人は発見されなかった。
３月　芸予地震‐中国・四国地方を中心に最大震度 6 弱。2 人が死亡、200 人以上が負傷した。
４月　「聖域なき構造改革」を掲げ、小泉内閣がスタート
５月　千葉県四街道市建設業附属宿舎火災　死者・不明者 11 人
青森県弘前市、消費者金融「武富士」支店で、押し入った男がガソリンをまき放火、従業員５人が焼死。
６月　大阪府池田市、大阪教育大附属小学校に 37 歳男性が刃物を振り回し児童 8 人が死亡。
７月　兵庫県明石市花火大会で群集雪崩がおき、死者 11 人負傷者 247 人
９月　新宿歌舞伎町「明星 56 ビル」で出火、44 人が死亡。
台風 15 号、関東直撃。関東の直接上陸は 12 年ぶり。
ニューヨーク世界貿易センタービル（ツインタワー）がハイジャックされた民間航空機 2 機に襲われ、泥細工のように崩れ落ちた。また同様に国防総省（ペンタゴン）も襲われた。約 3,000 人の死者・行方不明者を出した同時多発テロ。
１１月　海上自衛隊護衛艦「くらま」等 3 隻が軍事行動支援で初の海外派遣
１２月　皇太子御夫妻に内親王さまがご誕生。「命名の儀」でお名前は「敬宮愛子（としのみや・あいこ）」さま、お印はゴヨウツツジに決まりました。
鹿児島県奄美大島沖で不審船の停戦を命じた海上保安庁の巡視船に、不審船が自動小銃や小型ロケット砲を発射して銃撃戦に。

式三番

「式三番」とは、猿楽の能に古くから伝わる祭儀的な演目のことです。毎年10月の第2土曜日に愛宕神社（閏戸）の秋祭りで舞われる「閏戸の式三番」は、歌舞伎系統の古い形を残す貴重な伝統芸能で、埼玉県の指定無形民俗文化財です。

江戸時代中期、秀源寺の僧が愛宕明神を祀（まつ）った際に復活したものと伝えられていて、面を付けない千歳、白い面の翁、黒い面を付けた三番叟が次々と舞い、豊年を祈り繁栄を祝います。翁は神秘的にゆったりと動き、それを三番叟がおもしろおかしく演じます。

☆　市勢のあらまし

蓮田市は埼玉県の東部に位置し、その総面積は 27.27 ㎢である。又、JR 宇都宮線（東北本線）がおおむね南北に縦貫し、都心から約 40 ㎞、鉄道で約 40 分という恵まれた交通条件から近年都市化の進展が著しい。

地形は南北に長く東北部を流れる元荒川を境に菖蒲町及び白岡町に、西部は綾瀬川を境に桶川市・伊奈町及び上尾市に、東南部はさいたま市及び岩槻市にそれぞれ隣接し、綾瀬川とほぼ平行に利根川を水源とする見沼代用水が流れている。

道路網を見れば南北に国道 122 号線が、又市の中央を県道さいたま・栗橋線が横断している。

昭和 9 年 10 月 1 日綾瀬村が町制を施行し蓮田町が発足し、昭和 29 年 5 月 3 日蓮田町・黒浜村・平野村の 1 町 2 村が合併して新たな蓮田町となり、昭和 31 年 1 月 1 日岩槻市大字川島及び馬込の一部が編入し昭和 47 年 10 月 1 日市制を施行し蓮田市となり、今年は「市制 30 周年」を迎えるに至っている。

人口の推移

(単位：人・世帯)

年度	Ｈ６	Ｈ７	Ｈ８	Ｈ９	Ｈ１０	Ｈ１１	Ｈ１２	Ｈ１３	Ｈ１４
人　　口	63,117	63,690	64,229	64,792	64,967	65,006	64,852	64,917	65,008
人口増加数	1,150	573	539	563	175	39	-154	65	91
人口増加率	1.8	0.9	0.8	0.9	0.3	0.1	-0.2	0.1	0.1
世　帯　数	20,061	20,555	21,004	21,541	21,882	22,179	22,426	22,727	23,134
世帯増加数	635	494	449	537	341	297	247	301	407
世帯増加率	3.2	2.4	2.1	2.5	1.6	1.3	1.1	1.3	1.8

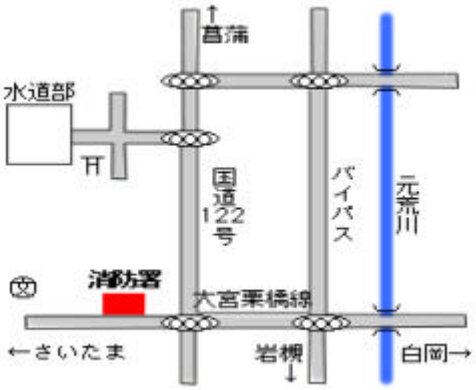
消防予算

(単位：千円)

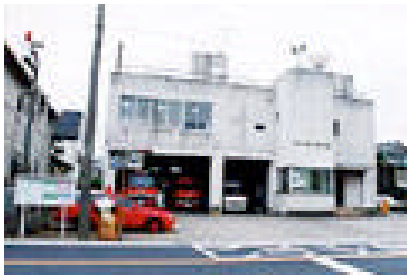
年度	市予算	消防費	比率	消　防　費　内　訳			
				常備費	非常備費	消防施設費	災害対策費
10	15,564,000	889,029	5.7	730,431	36,429	87,048	35,121
11	15,868,000	875,340	5.5	746,950	36,342	39,504	52,544
12	15,970,000	937,189	5.9	749,002	39,755	116,290	32,142
13	15,589,000	902,731	5.8	756,139	36,994	83,850	25,748
14	15,546,000	910,805	5.9	751,440	36,663	102,338	20,364

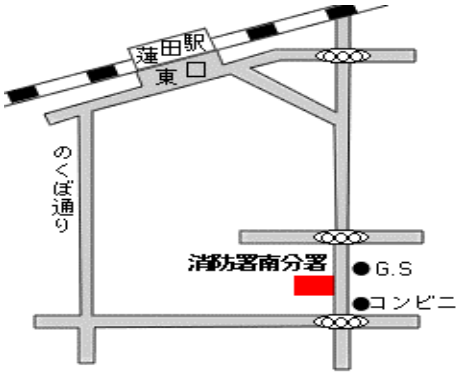
☆　消防庁舎

名　　称	蓮田市消防本部・消防署
所 在 地	〒349－0133　　埼玉県蓮田市大字閏戸 178－1 TEL：048－768－1109
建設年月日	昭和４４年３月３１日
構造・階数	鉄筋コンクリート・２階建
建築面積	３３１．７５㎡
延 面 積	５８８．７２㎡
敷地面積	５０４２．１８㎡

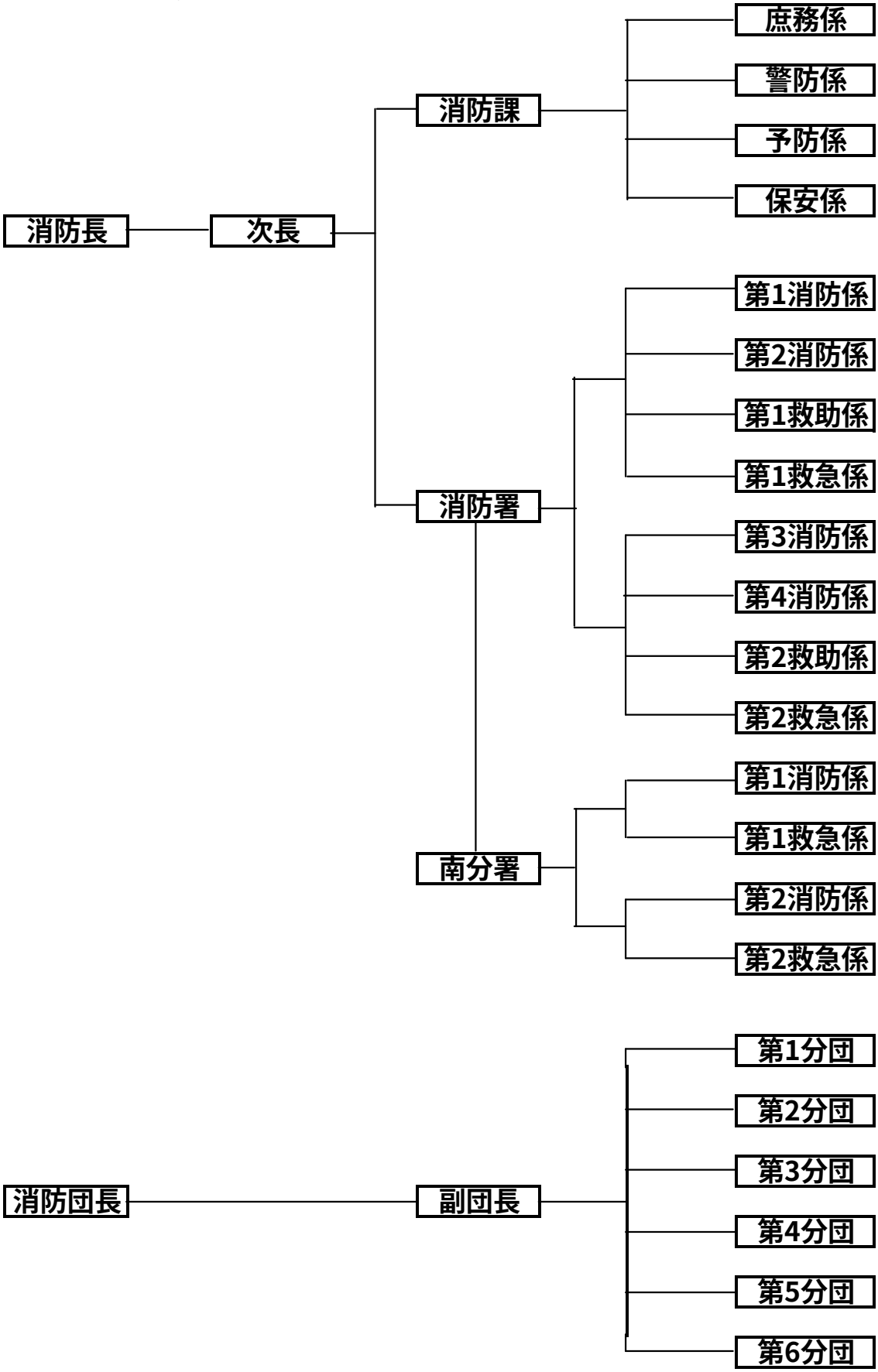


名　　称	蓮田市消防署南分署
所 在 地	〒349－0114　　埼玉県蓮田市大字馬込 1800－８ TEL：048－769－4396
建設年月日	昭和５４年３月３１日
構造・階数	鉄筋コンクリート・２階建
建築面積	２１４．２４㎡
延 面 積	４３９．７２㎡
敷地面積	１０２９．７４㎡





☆　消防組織


消防長
次長
消防課
庶務係
警防係
予防係
保安係
消防署
第1消防係
第2消防係
第1救助係
第1救急係
第3消防係
第4消防係
第2救助係
第2救急係
南分署
第1消防係
第1救急係
第2消防係
第2救急係
消防団長
副団長
第1分団
第2分団
第3分団
第4分団
第5分団
第6分団

消防課事務分掌

庶務係

1. 公印の保管に関すること。
2. 文書収受、発送及び整理に関すること。
3. 職員の人事及び給与に関すること。
4. 条例、規則の制定及び改廃に関すること。
5. 予算及び経理に関すること。
6. 物品の購入に関すること。
7. 職員の貸与品に関すること。
8. 安全衛生管理に関すること。
9. 消防施設の整備計画に関すること。
10. 消防財産に関すること。
11. 個人情報の管理に関すること。
12. 消防統計及び広報の総括に関すること。
13. 消防団に関すること。
14. 表彰及び儀式に関すること。
15. 公務災害補償に関すること。
16. 職員の福利厚生に関すること。
17. 消防職員委員会に関すること。
18. 課内の庶務に関すること。
19. 他の主管に属さない事務に関すること。

警防係

1. 警防計画及び演習訓練に関すること。
2. 消防車両・資機材の整備及び管理に関すること。
3. 消防水利の計画及び検査に関すること。
4. 消防相互応援協定に関すること。
5. 開発行為に伴う指導又は協議に関すること。
6. 安全運転管理に関すること。
7. 救急、救助の総括に関すること。
8. 応急手当の普及啓発に関すること。
9. 救急搬送証明書の交付に関すること。
10. 医療機関との連絡調整に関すること。
11. 消防用通信施設の整備及び管理に関すること。
12. 気象の総括に関すること。
13. 消防用燃料等に関すること。
14. その他警防に関すること。

予防係

1. 火災予防の広報、啓発に関すること。
2. 予防査察及び指導に関すること。
3. 建築確認等の同意事務に関すること。
4. 防火管理者の育成及び指導に関すること。
5. 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
6. 火災予防関係法令の実施に関すること。
7. 火災原因及び損害調査に関すること。
8. 予防統計及び情報管理に関すること。
9. 住宅防火対策に関すること。
10. 火災のり災証明の交付に関すること。
11. 防火基準適合表示に関すること。
12. 防火クラブの育成及び指導に関すること。
13. 街角消火器の整備に関すること。
14. 消防訓練の指導に関すること。
15. その他予防に関すること。

保安係

1. 危険物製造所等の規制及び許認可事務に関すること。
2. 危険物製造所等の保安の確保及び指導に関すること。
3. 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関すること。
4. 火薬類の規制事務に関すること。
5. 液化石油ガス等の保安の確保及び指導に関すること。
6. 危険物製造所等、火薬類及び液化石油ガス等の災害調査に関すること。
7. 危険物施設等の統計に関すること。
8. 防火安全協会に関すること。
9. その他保安に関すること。

消防署事務分掌

消防係

1. 火災等の警戒及び防御に関すること。
2. 消防水利の管理保全に関すること。
3. 消防機械器具の管理保全に関すること。
4. 警防調査に関すること。
5. 消防用通信施設の運用に関すること。
6. 火災原因及び損害調査に関すること。
7. 火災予防条例に関すること。
8. 消防訓練に関すること。
9. 街角消火器の維持管理に関すること。
10. 気象統計に関すること。
11. 署内の庶務に関すること。
12. 他の主管に属さない事務に関すること。

救急係

1. 救急業務に関すること。
2. 救急講習の指導及び訓練に関すること。
3. 救急車及び救急資機材の管理保全に関すること。
4. 救急統計及び報告に関すること。
5. 救急救命処置技術の研究に関すること。
6. その他救急に関すること。

救助係

1. 救助業務に関すること。
2. 特殊災害の警防活動に関すること。
3. 救助訓練に関すること。
4. 救助工作車及び救助資機材の管理保全に関すること。
5. 救助調査に関すること。
6. 救助統計及び報告に関すること。
7. その他救助に関すること。

消防吏員階級別年齢調べ

平成14年4月1日

	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	計
18歳								0
19歳								0
20歳								0
21歳	1							1
22歳	1							1
23歳								0
24歳	3	1						4
25歳		4						4
26歳	1	4						5
27歳		1						1
28歳		4						4
29歳		1						1
30歳								0
31歳		2						2
32歳		1						1
33歳								0
34歳		1						1
35歳								0
36歳			2					2
37歳			1					1
38歳			3	1				4
39歳			1					1
40歳			1	2				3
41歳			5	1				6
42歳			2					2
43歳			1	1				2
44歳			1	2				3
45歳			1	1	1			3
46歳			3	1	1			5
47歳			1	2				3
48歳			2	1				3
49歳				3				3
50歳					1			1
51歳				2				2
52歳				2				2
53歳				3	3			6
54歳					1			1
55歳						1		1
56歳								0
57歳				1		1		2
58歳					2	1	1	4
59歳				1				1
60歳								0
合計	6	19	24	24	9	3	1	86

消防吏員教育実施状況

平成 14 年 4 月 1 日

種別		階級	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計
消防大学校	総合教育	本科								0
		幹部研修科		1						1
		上級幹部科								0
	専科教育	警防科		1	1	1				3
		予防科		1	1					2
		救急科			1	3				4
		救助科				2				2
		火災調査科			1					1
消防学校		初任教育科		3	9	24	24	19	5	84
	専科教育	警防科警防課程			1	7	6	1		15
		予防科予防課程		1	5	8	3			17
		救急科標準課程			1		12	10	1	24
		救助科			3	10	14	5		32
		救急科Ⅱ課程(*)			2	17	6			25
	幹部教育	中級幹部科		2	3	3				8
		初級幹部科		2	4	7	1			14
	特別教育	実科指導員教育			4	5	2			11
		警防・救助隊長特別教育				1				1
		上級幹部研修			2					2
		幹部特別教育			4	4				8
		水難救助(*)				1	1			2
救急救命士養成所						2	1	1		4
市町村アカデミー					2	4				6
安全運転中央研修					1	6	7	2		16

(*)現在、行われてはおりません。

消防吏員資格取得状況

平成 14 年 4 月 1 日

資格名	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計
普通自動車	1	3	7	21	25	15	5	77
大型自動車Ⅰ種		2	3	10	15	11	2	43
大型自動車Ⅱ種			1	3				4
危険物取扱者（甲種）								0
危険物取扱者（乙種 1 類）			2		2	1		5
危険物取扱者（乙種 2 類）			2		2	1		5
危険物取扱者（乙種 3 類）			2	1	3	2		8
危険物取扱者（乙種 4 類）		2	7	12	11	8	1	41
危険物取扱者（乙種 5 類）			2		2	2		6
危険物取扱者（乙種 6 類）			2	2	2	1	4	11
危険物取扱者（丙種）						3		3
消防設備士（甲種 1 類）			1					1
消防設備士（甲種 4 類）		1						1
消防設備士（甲種 5 類）			1	1				2
消防設備士（乙種 1 類）			1	1				2
消防設備士（乙種 2 類）			1	1				2
消防設備士（乙種 3 類）			1					1
消防設備士（乙種 4 類）			1					1
消防設備士（乙種 5 類）		1	1	1				3
消防設備士（乙種 6 類）		3	3	6	2			14
消防設備士（乙種 7 類）		1	1					2
特殊無線技士		1	5	19	18	4		47
アマチュア無線技士			3	4	1			8
潜水士				2	4	1	1	8
小型船舶			2	11	11	1		25
電気工事士								0
鉄砲所持許可証				3	3			6
衛生管理者		1	3	2	1			7
毒物劇物取扱者								0
アーク溶接			2	4	3			9
ガス溶接			2	5	13	6	2	28
玉掛技能			2	6	12	6	2	28
移動式クレーン技能			1	6	13	3	2	25
酸素欠乏危険作業主任者				7	13	3	2	25
ボイラー取扱者				1	1			2
足場組立等作業主任者				2	3			5
高圧ガス販売主任		1						1
応急手当指導員			4	6	4	2		16
自動車整備士		1			1			2
調理師					1	1		2
柔道（剣道）（初段以上）					4			4

☆　消防相互応援協定

この協定は、消防組織法第２１条の規定に基づき、市・町消防本部及び組合消防本部と相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的とする。

市・町・組合	協定締結年月日	協定内容（災害種別）
久喜地区・白岡町	昭和５１年４月１日	久喜地区消防組合・蓮田市・白岡町消防救急相互応援協定　（救急）
岩槻市	昭和５４年4月２８日	蓮田市・岩槻市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県央広域	平成８年８月１日	埼玉県央広域・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
白岡町	昭和５４年８月１日	白岡町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
久喜地区	昭和５７年7月２１日	久喜地区消防組合・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
上尾市	昭和５４年8月２５日	上尾市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
伊奈町	昭和 54 年 8 月 28 日	伊奈町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
さいたま市	平成 13 年 12 月 1 日	さいたま市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県下の市町村、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合	昭和 60 年 4 月 1 日	埼玉県下消防相互応援協定
川口市・浦和市 岩槻市・白岡町 羽生市・久喜地区 加須地区・群馬県 館林地区消防組合	平成 4 年 3 月 12 日	東北高速道路管内市町(組合)(火災・救急)間の消防相互応援協定

☆　消防自動車配置状況　（消防本部・署）

平成14年4月1日

配置	種別	車名	型式	ポンプ会社名	ポンプ級別・型式	購入年月日	備考
消防本部	指令車	トヨタ	R－ET 196V			H 8.5	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
	指令車	ホンダ	E－RF1			H11.3	
	連絡車	トヨタ	E－SV40			H 7.4	
	連絡車	スズキ	E－HA11S			H 9.3	
	連絡車	スズキ	LA-MC22S			H13.4	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
消防署	消防車	イスズ	KC－NKR 71GN	森田ポンプ	A-2級 CD-I型	H 9.3	
	速消車	ヒノ	U－FD3 HEAA	篠崎ポンプ	A-1級 I-A型	H 4.7	寄贈車 水槽1500 L 贈 日本損害保険協会
	化学車	イスズ	P－FSR 12FAV改	森田ポンプ	A-2級 II型	S63.12	水槽1500 L 薬液 500 L
	資機材搬送車	マツダ	GE－SYE6T			H14.1	
	救急車	ニッサン	E－ALE 50改			H11.2	高規格
	救助工作車	ヒノ	KC－GD1 JGBA			H 8.2	II型
南分署	広報指導車	トヨタ	R－ET 196V			H 8.5	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
	消防車	イスズ	P－NKR58 EZN改	森田ポンプ	A-2級 CD-I型	S63.3	
	速消車	ヒノ	P－FD 172BA	森田ポンプ	A-2級 I-B型	H1.11	水槽1500 L
	救急車	ニッサン	E－FE GE24			H 7.3	

消防無線一覧表

平成14年4月1日

局　所	所　属	呼　出　名　称	配置及び積載車	出力（W）	メーカー・型式
基地局	消防本部	しょうぼうはすだ	通　信　室	5	沖電気・VM3050
移動局・携帯局		はすだしれい１	指　令　車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだしれい２	指　令　車	10	沖電気・VM1135T
		はすだ１０１	指　令　車	1	沖電気・VM1080S
	消防署	はすだ１	速　消　車	10	沖電気・VM1107T
		はすだ２	消　防　車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだきざい１	資機材搬送車	10	沖電気・VM1135T
		きゅうきゅうはすだ２	救　急　車	10	沖電気・VM1135T
		はすだかがく１	化　学　車	10	沖電気・VM1107T
		はすだきゅうじょ１	救助工作車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだ１０２	救　急　車	1	沖電気・VM1130T
		はすだ１０３	速　消　車	5	沖電気・VM1130T
		はすだ１０４	消　防　車	1	沖電気・VM1090
		はすだ１０５	化　学　車	5	沖電気・VM1130T
		はすだ１０９	救助工作車	1	沖電気・VM1108T
		はすだ１１０	救助工作車	1	沖電気・VM1108T
移動局・携帯局	南分署	はすだみなみ１	広報指導車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだみなみ２	速　消　車	10	沖電気・VM1107T
		はすだみなみ３	消　防　車	10	沖電気・VM1056
		きゅうきゅうはすだ１	救　急　車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだ１０６	救　急　車	1	沖電気・VM1108T
		はすだ１０７	消　防　車	1	沖電気・VM1090A
		はすだ１０８	速　消　車	1	沖電気・VM1108T

※　周波数　市町村波　150.75MHZ
　　県　波　148.29MHZ

☆　消防水利設置状況

消防水利には、消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、本市ではその大部分を人工水利で占めています。
消火栓は連続的に給水され、かつ、簡便に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点もあわせもっています。
こうした消火栓の持つ弱点をカバーするためにも、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備することが必要です。

平成14年4月1日

種別	消火栓	防火水槽					その他		
		100m³以上	60m³以上100m³未満	40m³以上60m³未満	20m³以上40m³未満	20m³未満	プール	河川溝等	その他
公設	622		2 (2)	61 (15)	12 (1)	1	13	2	
私設			1 (1)	48 (20)	12	1	1		6
計	622		3 (3)	109 (35)	24 (1)	2	14	2	6

(注)　1.　(　　)は耐震性防火水槽
　　2.　その他の水利について(蓄熱槽「東光電気」1基・最沈槽「環境センター」２基、受水槽「日本容器」１基・排水槽「東北道」２基の指定水利をいう。)

地区別消火栓配管口径別設置数

平成14年4月1日

種別／地区	配管口径内訳（mm）									合計
	500	400	350	250	200	150	125	100	75	
蓮田	3	2	8	25	24	64	8	83	111	328
平野					3	35	2	9	28	77
黒浜		1		8	29	72	2	49	56	217
合計	3	3	8	33	56	171	12	141	195	622

☆ 予防

訓練及び広報活動状況

平成13年度

訓練	種別	消火訓練	避難訓練	通報訓練
	回数	37	38	25
	参加人数	5,068	5,455	
広報		種別	対象	件数
		防火講演 防火映画	学校 幼稚園 自治会等	14回 1,383人
		ポスター、チラシ等の配布	各事業所、各家庭	12種類 22,850枚
		広報車による巡回広報活動	市内全域	37回
		地震・煙体験車	自治会 学校等	2回 550人
		施設見学	小学校 一般	6回 244人
		火災予防啓蒙活動	一般	さくらまつり、保育園 4回

「各種イベント」等で防災PR

蓮田市消防本部では、災害予防啓蒙活動の一環として、市内で実施される各種イベントに、年間をとおして積極的に参加し防災意識の高揚を図っています。
火災予防運動期間中は、蓮田駅前にて防火チラシを配布したり、また幼稚園・保育園等に出向き火災予防のPRを行っています。
また、「さくらまつり」「はすだ市民まつり」等のイベントでは、市民の皆さんとコミュニケーションを図りながら防災意識の向上を目指し市民が安心して暮らせる街づくりをめざしています。

防火対象物調　延べ面積　150㎡以上）

平成13年度

用途			対象物数	軒高15m以上
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		
	ロ	公会堂、集会場	18	
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等		
	ロ	遊技場、ダンスホール	7	
3	イ	待合、料理店等	4	
	ロ	飲食店	25	
4		百貨店、店舗、マーケット等	61	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	5	2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	547	6
6	イ	病院、診療所、助産所	39	2
	ロ	福祉及び厚生施設等	15	
	ハ	幼稚園、養護学校等	12	
7		小、中、高等学校、各種学校	53	1
8		図書館、博物館、美術館	2	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場		
10		車両の停車場等		
11		神社、寺院、教会	10	
12	イ	工場、作業場	187	1
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫、駐車場	13	
	ロ	飛行機の格納庫		
14		倉庫	116	1
15		前各項に該当しない事業場	124	3
16	イ	特定対象物の複合用途建物	110	6
	ロ	イ以外の複合用途建物	44	
合計			1,392	22

消防用設備及び火災予防条例等に基づく届出件数

平成13年度

項　　目	件　　数	項　　目	件　　数
防火対象物使用開始	50	少量危険物貯蔵取扱い	9
消防用設備等着工	31	圧縮アセチレンガス等	13
消防用設備等設置	113	催　物　開　催	2
消防用設備等点検報告	155	火災とまぎらわしい届出	23
防火管理者選（解）任	45	煙火打ち上げ	5
消防計画（変更含む）	57	発・畜・変電設備	16
炉、ボイラー設備等設置	2	道　路　工　事	130

街角消火器設置状況

平成13年度

蓮田地区	黒浜地区	平野地区	合　　計
417	423	127	967

☆　保安

危険物類別施設数及び事務処理状況

平成１3年度

区分 / 製造所等の区分		施設数						処理状況（交付）			
		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	許可		完成検査	
								設置	変更	設置	変更
製造所					5			1	2	1	2
貯蔵所	屋内貯蔵所				22						
	屋外貯蔵所				2						
	屋内タンク貯蔵所				1						
	屋外タンク貯蔵所				37						
	地下タンク貯蔵所				38						
	移動タンク貯蔵所				14						
取扱所	給油取扱所				30						
	一般取扱所		2		23				2		2
合計			2		172			1	4	1	4

危険物施設申請事務処理状況

単位：円

申請別	件数		金額	
	12年度	13年度	12年度	13年度
設置許可申請	4	1	130,000	52,000
変更許可申請	9	4	253,500	97,500
完成検査申請〔設置〕	5	1	84,500	26,000
完成検査申請〔変更〕	9	4	126,750	48,750
仮使用承認申請	3	2	16,200	10,800
完成検査前検査申請	1	2	6,000	12,000
危険物仮貯蔵・仮取扱承認申請	2	―	10,800	―
少量危険物等タンク検査申請	―	―	―	―
合計	３３	１４	627,750	247,050

倍数別危険物施設状況

平成13年度

施設区分／区分（指定数量）	製造所	貯蔵所						取扱所	
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	給油取扱所	一般取扱所
施設数	5	２２	2	1	３７	３８	１４	３０	２３
10倍以下	1	１２	1	1	１４	２７	１３	1	１４
10倍を超え100倍以下	2	8	1		１５	8	1	１２	6
100倍を超え200倍以下		2			3	1		9	
200倍を超え1000倍以下	2				5	2		8	2
1000倍を超えるもの									1

防 火 関 係 団 体

最近の火災は、複雑多岐化の傾向にあり、従来にない要因による火災や出火経過等を特定しにくい火災が増加しつつあります。毎年６万件以上の火災が全国で発生しており、多くの尊い人命や財産が失われています。蓮田市内では、特に大きな火災はありませんが、これも防火安全協会会員の防火ＰＲ等の成果と思われます。

蓮田市防火安全協会には、現在１２７事業所が入会しており、防火思想の普及徹底を図り、防火対象物や一般住宅の火災予防に努めています。　また、危険物災害を未然に防止するため、危険物の取り扱いや安全管理の向上を図っており社会公共の福祉の増進に寄与しています。

事業の概要

1　防火思想の普及徹底に関すること
2　防火管理の調査及び研究に関すること
3　危険物の安全管理思想の普及及び啓発に関すること
4　危険物の取扱いと安全管理等の調査及び研究に関すること
5　関係法令の普及徹底に関すること
6　講習会及び視察研修等に関すること
7　災害発生時等の相互協力に関すること
8　表彰に関すること
9　会員相互の親睦に関すること
10　その他本会の目的達成に関すること

危険物　小さな油断も　イエローカード

寅子石の伝説

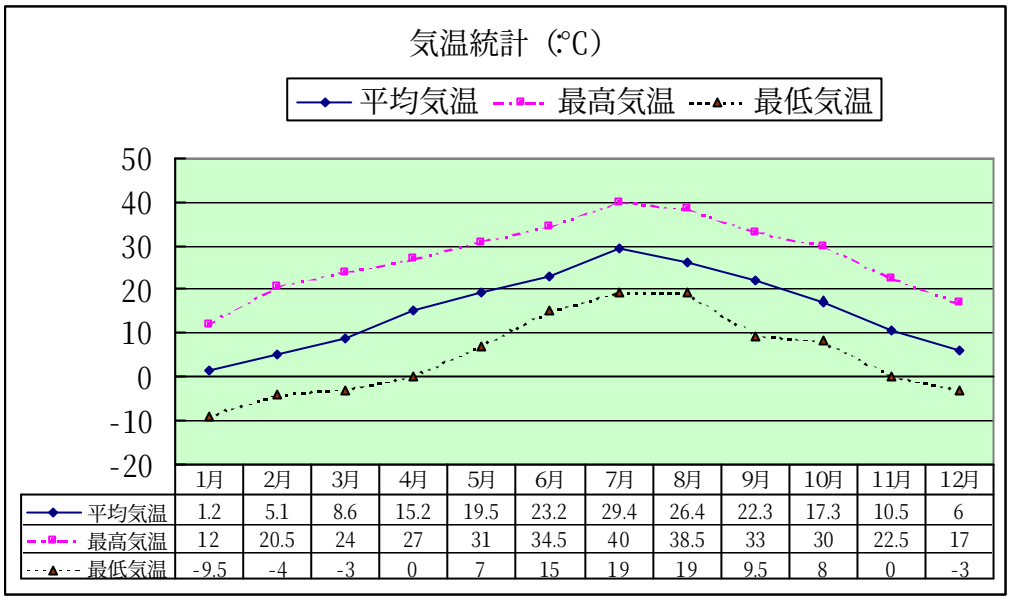
市の最南端・辻谷の里には「寅子石（とらこいし）」と呼ばれる板碑が建っています。高さ４メートルの県下で２番目に大きい板碑で、鎌倉時代の延慶 4 年（1311 年）に唯願法師が真仏法師（親鸞の直弟子）の報恩供養のために建てたものです。

「昔、この付近の長者の寅子というたいへん器量よしの一人娘がいた。近在の若者からの縁談がひきもきらず、胸を痛めるようになってしまった。そして、自らの命を絶ってしまった。若者たちは大いに悔い悩み、寅子の供養塔を建てた」という伝承があり、地元では「寅子石」と呼ばれるようになりました。

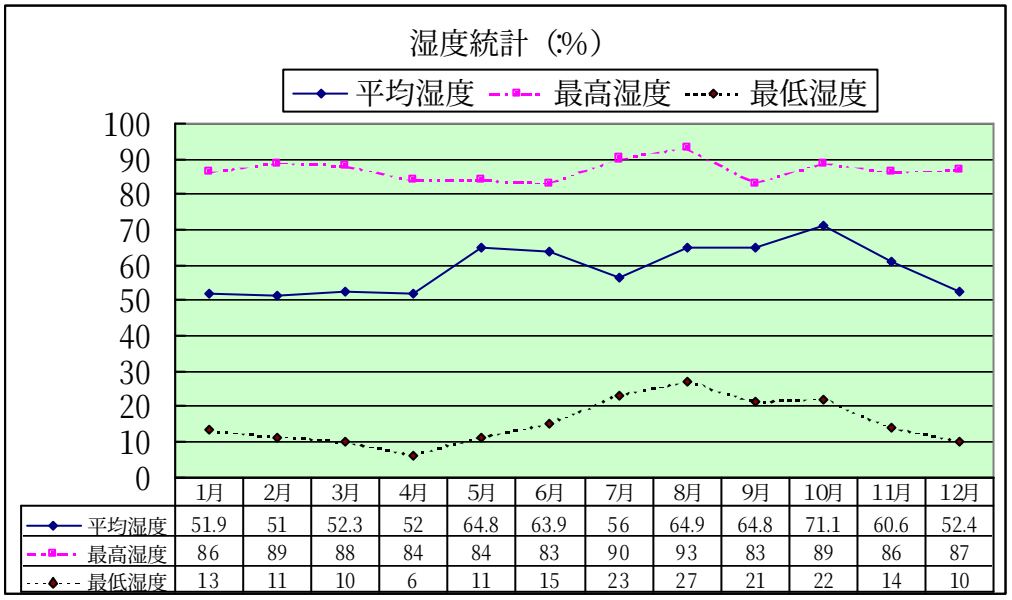
毎年 3 月 8 日の寅子の命日には、今も辻谷地区の婦人たちが心をこめたご馳走をつくり供養をつづけています。

＊《昭和 16 年文部省より重要美術品に認定》
＊《昭和 40 年埼玉県指定考古資料の指定》

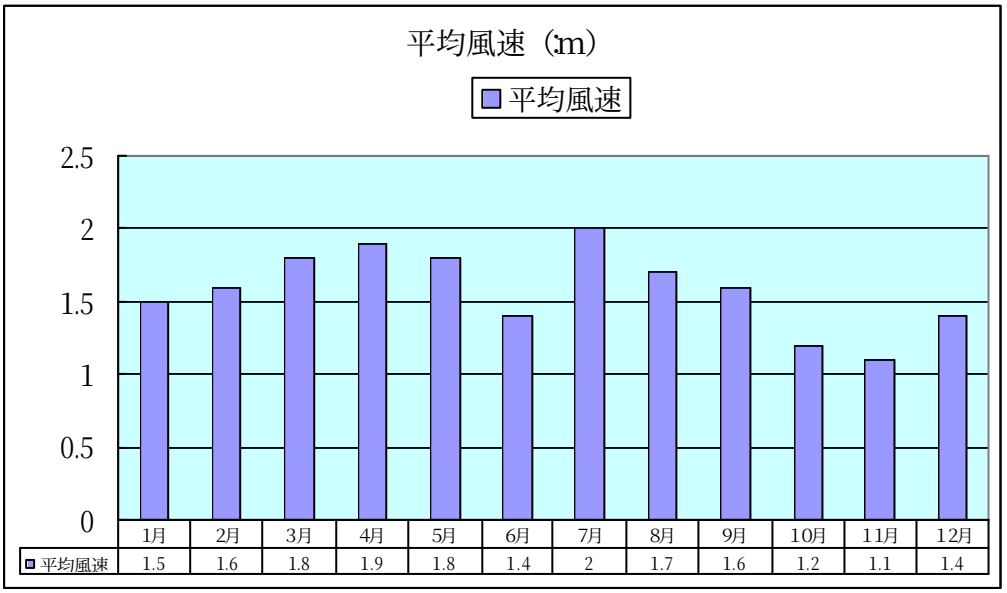
☆気象統計（平成 13 年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	1.2	5.1	8.6	15.2	19.5	23.2	29.4	26.4	22.3	17.3	10.5	6
最高気温	12	20.5	24	27	31	34.5	40	38.5	33	30	22.5	17
最低気温	-9.5	-4	-3	0	7	15	19	19	9.5	8	0	-3



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均湿度	51.9	51	52.3	52	64.8	63.9	56	64.9	64.8	71.1	60.6	52.4
最高湿度	86	89	88	84	84	83	90	93	83	89	86	87
最低湿度	13	11	10	6	11	15	23	27	21	22	14	10



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均風速	1.5	1.6	1.8	1.9	1.8	1.4	2	1.7	1.6	1.2	1.1	1.4

☆ 火災概況（平成13年）

※※蓮田市消防本部※※

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数		4	4	5	4	1	1	2	1	2	2	2	2	30
種別	建物火災	4	1	2	2	1			1		1	2	1	15
	車両火災			1				1		2				4
	その他火災		3	2	2		1	1			1		1	11
原因別	放火（疑い含む）	1	1		1		1						1	5
	焚き火	1		1	1					1				4
	ガスコンロ	1							1		1			3
	タバコ										1	1		2
	火遊び		1	1										2
	交通事故			1										1
	電気関係				1									1
	焼却炉											1		1
	スプレー缶									1				1
	不明	1	2	2	1	1		2					1	10
死傷者		傷 2	傷 1	傷 1									死 1	傷4 死1
焼損表面積（㎡）		0.2		5.5	0.9				0.9			3.3	49.14	59.94
焼損床面積（㎡）		56	14	203	127.19	193						28.35	188.8	810.34
焼損棟数		6	1	7	6	1			1		1	3	5	31
火元焼損区分	全焼	1		1	1	1						1	1	6
	半焼													0
	部分焼	2	1	1								1		5
	ぼや	1			1									2
延焼による棟数		2		5	4				1		1	1	4	18
罹災世帯		3	1	2	2	1			1		1	3	3	17
罹災人員		9	4	6	6	2			3		2	3	7	42
損害額	建物	6,526	1,470	11,934	2,857	32,354						2,750	69,251	127,142
	内容物	1,853	53	1,344	517	9,076						263	1,585	14,691
	その他			904		4,290		2,600		130			50	7,974
	合計	8,379	1,523	14,182	3,374	45,720	0	2,600	0	130	0	3,013	70,886	149,807

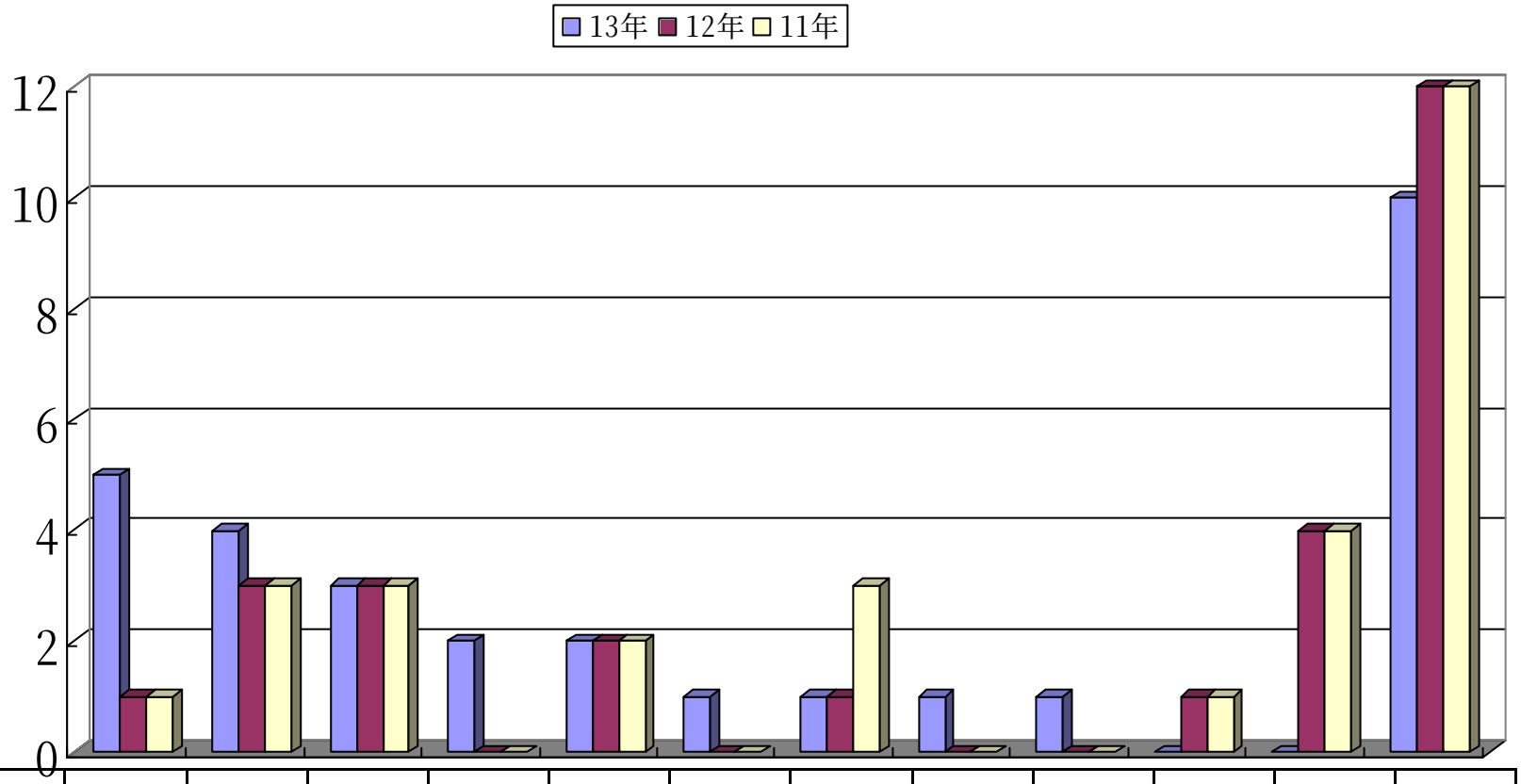
平成10年中の火災件数　16件　損害額　115，647 千円

平成11年中の火災件数　31件　損害額　22，604 千円

平成12年中の火災件数　43件　損害額　59，350 千円

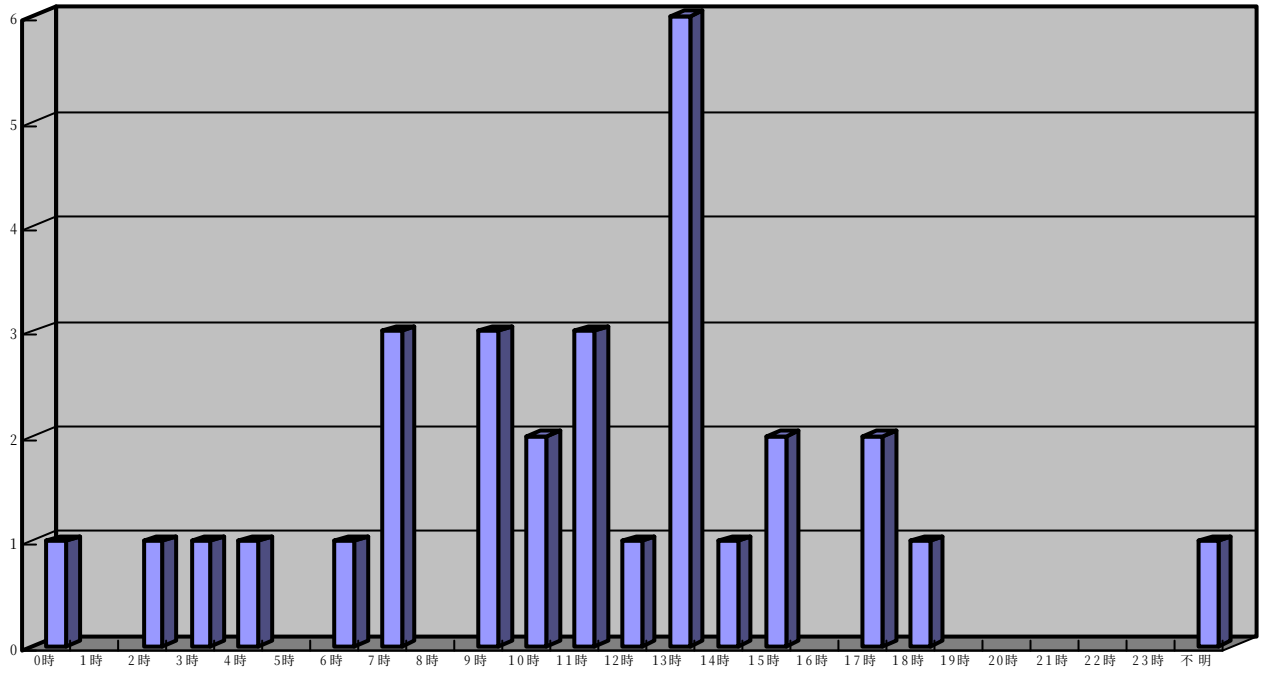
その他火災は、枯草等の火災をいう。

過去３年間における原因別火災発生状況



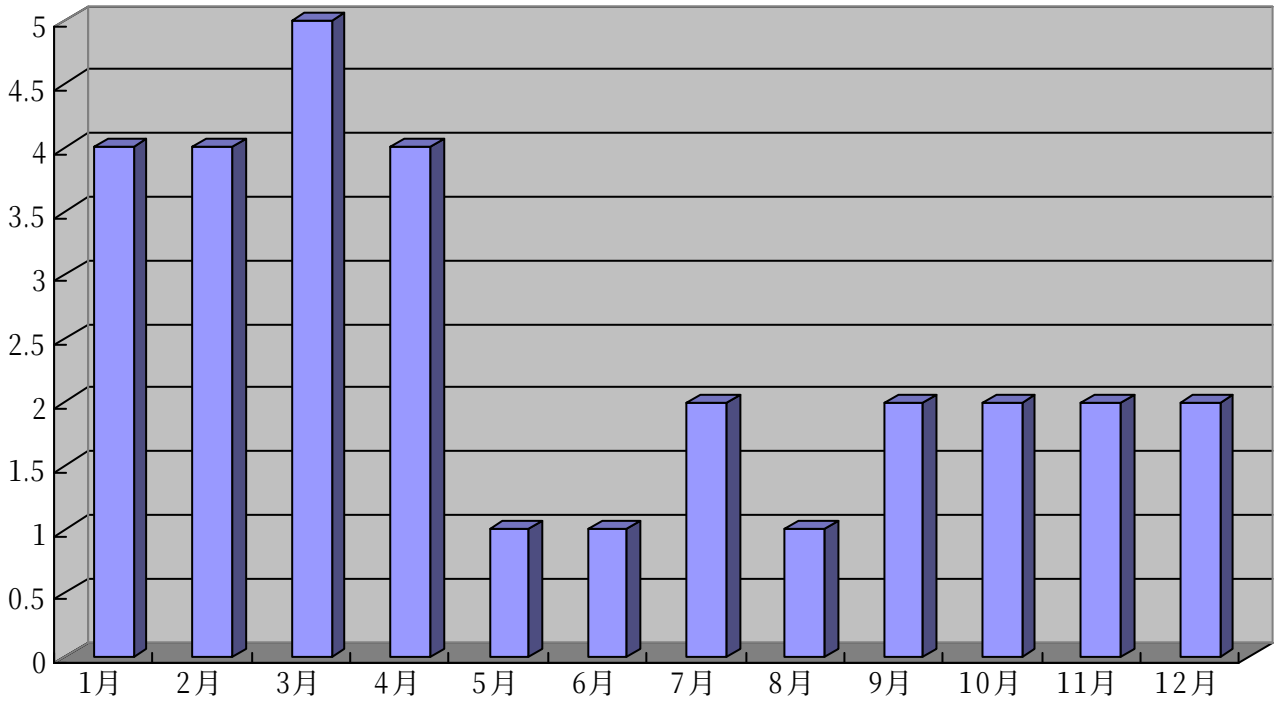
	放火（疑い含む）	焚火	ガスコンロ	タバコ	火遊び	交通事故	電気関係	焼却炉	スプレー缶	風呂釜	その他	不明
H11年	1	3	3		2		3			1	4	12
H12年	1	3	3		2		1			1	4	12
H13年	5	4	3	2	2	1	1	1	1			10

時間別火災発生件数



発生時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
件数	1		1	1	1		1	3		3	2	3	1	6	1	2		2	1						1

月別火災発生件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	4	4	5	4	1	1	2	1	2	2	2	2

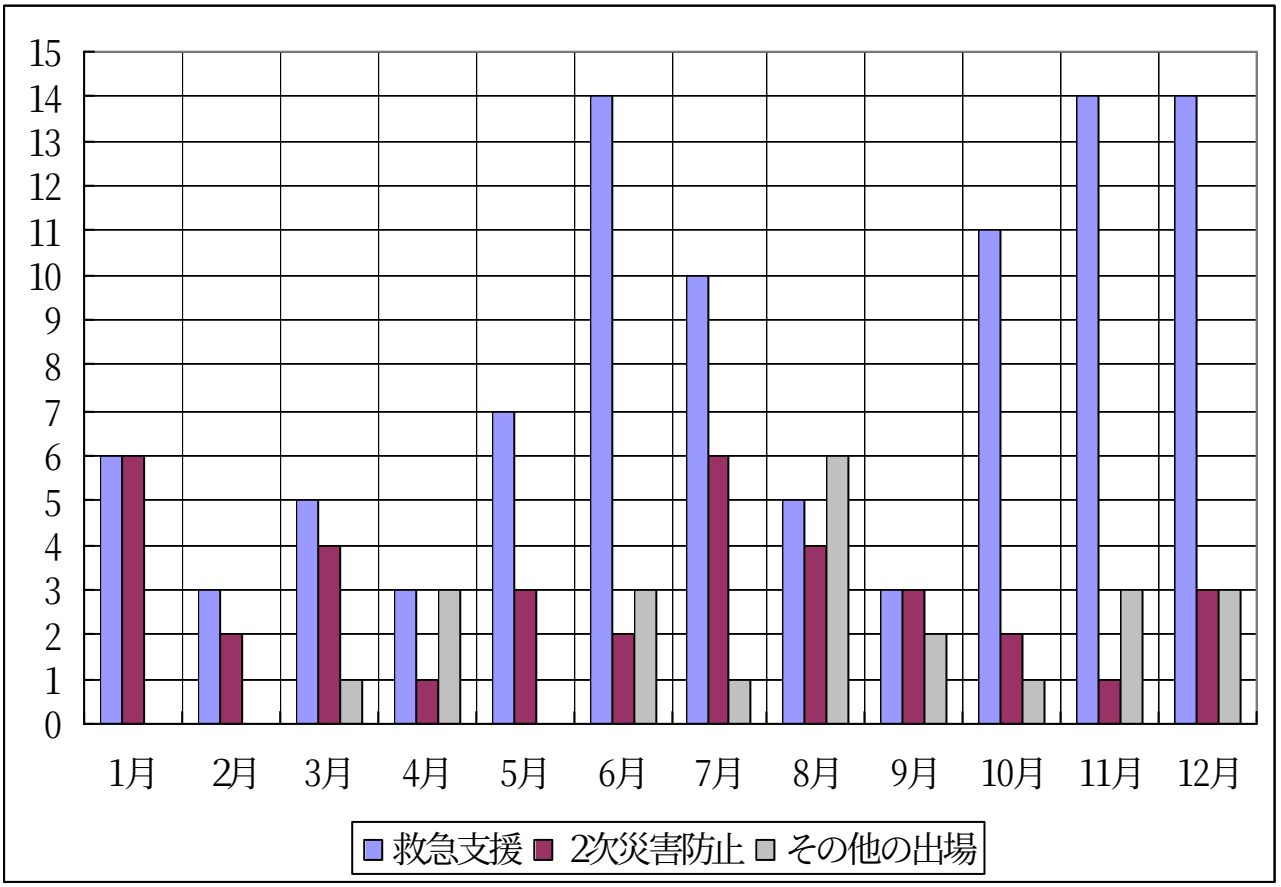
☆　その他出場件数

平成 13 年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救急支援	6	3	5	3	7	14	10	5	3	11	14	14	95
2次災害防止	6	2	4	1	3	2	6	4	3	2	1	3	37
その他の出場			1	3		3	1	6	2	1	3	3	23
計	12	5	10	7	10	19	17	15	8	14	18	20	155

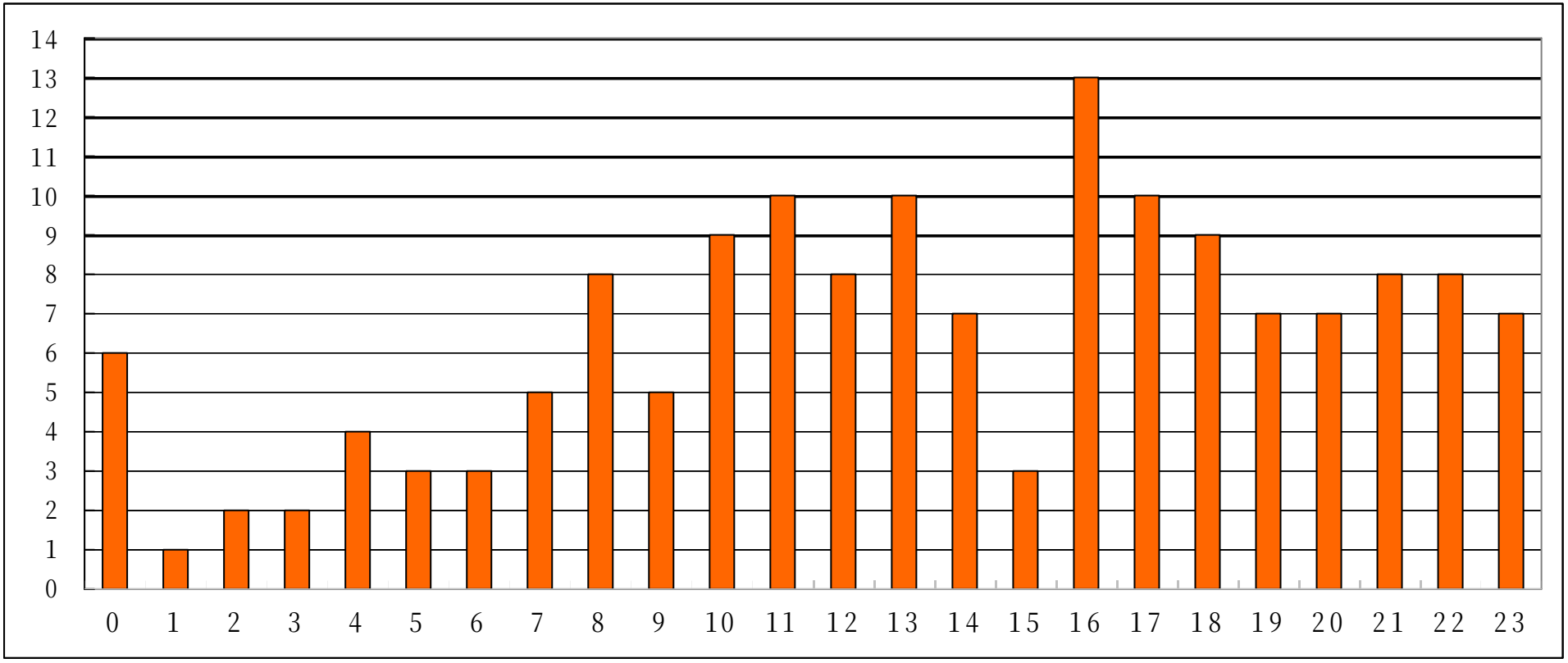
救急支援……狭隘箇所又は歩行不可能な患者の搬出困難時の救急活動の協力活動
2 次災害防止…交通事故現場の交通整理、事故車両のオイル漏れ処理活動
その他の出場…防火水槽の漏洩確認、火災報知器の誤作動による出動

平成 13 年



時間別その他出場件数

平成 13 年



時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
件数	6	1	2	2	4	3	3	5	8	5	9	10	8	10	7	3	13	10	9	7	7	8	8	7

☆　救　急

蓮田市における救急業務は昭和 44 年２月に救急自動車１台を配備して業務を開始しました。平成１４年４月１日現在においては救急自動車２台、専任・兼任の計２８人の救急隊員により救急活動を行っています。
また、平成 13 年中の救急出動件数は 1,776 件、搬送人員 1,713 人にのぼり、市民の 38 人に 1 人が救急隊によって搬送されたこととなります。
このように救急業務は、市民の生命・身体を守る上で不可欠な行政サービスとして定着し、救急隊員の活躍する場も広範多岐にわたっています。

また、市民等に対する応急手当の普及啓発については更なる救命効果の向上を目指し「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」を定め、13 年中は 14 回の普通救命講習会を開催し３７４名が受講しています。今後とも市民の生命、身体を守るという消防法の理念に基づき、地域の救命効果の向上のため、市民等に対する応急手当の普及啓発を積極的に実施していく必要があります。

救急業務実施状況

平成 13 年における救急実施状況をみると、救急出動件数 1,776 件、搬送人員 1,713 人で前年と比べ出動件数では 15 件（0.85%）、搬送人員においては 22 人（1.30%）の増加となっています。

区分＼年別		平成13年 A	平成12年 B	対前年比 増減数 A-B=C	対前年比 増減数 C÷B
出動件数		1776	1761	15	0.85%
不搬送件数		135	135	0	0.00%
転院搬送件数		169	114	55	48.25%
搬送人員		1713	1691	22	1.30%
内訳	男性	906	905	1	0.11%
	女性	807	786	21	2.67%

☆　平成 13 年中の救急出動件数及び搬送人員

管内別出動件数をみると、前年より件数は減少したが本署救急隊で 1,008 件（構成比 56.76%）と上回っている。

区分＼署別	出動件数	構成比(%)	前年出動件数	増減	1ヵ月平均	1日平均	搬送人員
本署	1008	56.76%	1039	-31	84	2.76	996
分署	768	43.24%	722	46	64	2.10	717
合計	1776	100.00%	1761	15	148	4.87	1713

管内別＼事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	1776	4	0	0	322	17	7	211	18	41	986	170
本署	1008	4	0	0	195	12	4	114	7	22	571	79
分署	768	0	0	0	127	5	3	97	11	19	415	91

種別 / 月別	救急事故種別												傷病程度				
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	死亡	重症	中等症	軽症	計
1月	1 2			19 23			19 17		1	92 88	13 13	145 143	5	20	60	58	143
2月	1 1			24 25	1 1	2 2	17 18	2 1	6 2	80 75	16 16	149 141	3	26	59	53	141
3月	1 1			35 40	2 2		22 20	5 4	9 6	84 78	16 16	174 167	1	25	66	75	167
4月				17 19	1 1	1 1	18 17	2 2		74 71	13 13	126 124	4	21	50	49	124
5月				33 43	2 1	1 1	21 17	1 1	3 1	88 82	17 17	166 163	4	23	71	65	163
6月				29 34	1 1		10 10		1 1	60 53	15 15	116 114	3	18	41	52	114
7月				36 38	2 2		20 19	1 1	4 2	97 93	17 16	177 171	4	22	77	68	171
8月				23 25	3 3		13 13	1 1	1 1	71 68	7 7	119 118	5	19	49	45	118
9月				22 22			16 16	4 4	2 1	85 78	10 10	139 131	0	22	54	55	131
10月				27 26	2 2	3 3	18 16		8 3	75 65	14 14	147 129	3	19	51	56	129
11月	1 1			26 34	2 2		15 14	1 1	5 4	82 74	14 14	146 144	3	16	70	55	144
12月				31 33	1 1		22 21	1 1	1 1	98 93	18 18	172 168	3	20	83	62	168
合計	**4** **5**	**0** **0**	**0** **0**	**322** **362**	**17** **16**	**7** **7**	**211** **198**	**18** **16**	**41** **22**	**986** **918**	**170** **169**	**1776** **1713**	**38**	**251**	**731**	**693**	**1713**

(注) 種別欄上段は、出場件数 ・下段は、搬送人員を示す。
・ 平成11年中の出動件数 1, 508件 内訳 交通 294 急病 859 一般負傷 165 その他 190)
・ 平成12年中の出動件数 1, 761件 内訳 交通 360 急病 993 一般負傷 169 その他 239)

転送の状況

転送とは、搬送先医療機関（接骨院等を含む）において何らかの理由により収容されなかったため他の医療機関へ搬送することをいいます。
平成 13 年中の搬送人員は 1,713 人うち 48 人（2.8%）が転送となっています。

転送回数 / 傷病程度	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回以上	計
死亡	38	0	0	0	0	0	38
重症	242	9	0	0	0	0	251
中等症	722	9	0	0	0	0	731
軽症	687	6	0	0	0	0	693
計	1,689	24	0	0	0	0	1,713

年齢区分別事故種別搬送人員

年齢区分＼事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
新生児	1			32	33
乳幼児	71	16	29	4	120
少年	27	41	7	5	80
成人	393	274	66	116	849
老人	426	31	96	78	631
計	918	362	198	235	1713

※　年齢区分は次による
新生児／生後２９日未満の者
乳幼児／生後２９日以上７歳未満の者
少　年／満７歳以上１８歳未満の者
成　人／満１８歳以上６５歳未満の者
老　人／満６５歳以上の者

年齢区別傷病者程度別搬送人員

程度＼区分	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	計
死亡	0	1	1	9	27	38
重症	4	1	1	90	155	251
中等症	28	27	18	332	326	731
軽症	1	91	60	418	123	693
計	33	120	80	849	631	1713

曜日別月別救急出動件数

区分＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
曜日別	月	0	0	0	39	4	1	33	1	11	141	31	0	0	0	**261**
	火	0	0	0	44	3	2	31	2	10	131	23	0	0	0	**246**
	水	1	0	0	38	4	0	24	2	1	142	25	0	0	0	**237**
	木	1	0	0	52	1	0	30	2	5	139	21	0	0	0	**251**
	金	1	0	0	49	2	0	21	6	5	145	34	0	0	1	**264**
	土	0	0	0	57	2	1	30	4	4	135	24	0	0	0	**257**
	日	1	0	0	43	1	3	42	1	5	153	11	0	0	0	**260**
	計	**4**	**0**	**0**	**322**	**17**	**7**	**211**	**18**	**41**	**986**	**169**	**0**	**0**	**1**	**1776**
月別	1月	1	0	0	19	0	0	19	0	1	92	13	0	0	0	**145**
	2月	1	0	0	24	1	2	17	2	6	80	16	0	0	0	**149**
	3月	1	0	0	35	2	0	22	5	9	84	16	0	0	0	**174**
	4月	0	0	0	17	1	1	18	2	0	74	13	0	0	0	**126**
	5月	0	0	0	33	2	1	21	1	3	88	17	0	0	0	**166**
	6月	0	0	0	29	1	0	10	0	1	60	15	0	0	0	**116**
	7月	0	0	0	36	2	0	20	1	4	97	16	0	0	1	**177**
	8月	0	0	0	23	3	0	13	1	1	71	7	0	0	0	**119**
	9月	0	0	0	22	0	0	16	4	2	85	10	0	0	0	**139**
	10月	0	0	0	27	2	3	18	0	8	75	14	0	0	0	**147**
	11月	1	0	0	26	2	0	15	1	5	82	14	0	0	0	**146**
	12月	0	0	0	31	1	0	22	1	1	98	18	0	0	0	**172**

事故種別医療機関別搬送人員

蓮田市における救急告示医療機関

・蓮田病院　　・一心会病院　　・蓮田外科医院

告示の別等	開設者別 ＼ 事故種別等		急病	急病 うち管外	交通	交通 うち管外	一般負傷	一般負傷 うち管外	その他	その他 うち管外	計	計 うち管外
救急医療機関	国立		0	0	0	0	0	0	1	1	**1**	**1**
	公立		0	0	0	0	1	1	16	16	**17**	**17**
	公的		37	37	1	1	3	3	26	26	**67**	**67**
	私的	病院	728	283	346	123	172	68	132	69	**1378**	**543**
		診療所	11	0	8	0	4	0	0	0	**23**	**0**
	計		**776**	**320**	**355**	**124**	**180**	**72**	**175**	**112**	**1486**	**628**
その他の医療機関	国立		27	0	1	0	8	0	3	1	**39**	**1**
	公立		31	31	0	0	2	2	25	25	**58**	**58**
	公的		0	0	0	0	0	0	0	0	**0**	**0**
	私的	病院	74	59	6	2	6	3	31	31	**117**	**95**
		診療所	9	4	0	0	1	1	1	0	**11**	**5**
	計		**141**	**94**	**7**	**2**	**17**	**6**	**60**	**57**	**225**	**159**
計	国立		27	0	1	0	8	0	4	2	**40**	**2**
	公立		31	31	0	0	3	3	41	41	**75**	**75**
	公的		37	37	1	1	3	3	26	26	**67**	**67**
	私的	病院	802	342	352	125	178	71	163	100	**1495**	**638**
		診療所	20	4	8	0	5	1	1	0	**34**	**5**
	計		**917**	**414**	**362**	**126**	**197**	**78**	**235**	**169**	**1711**	**787**
その他の場所	接骨院等		1	0	0	0	1	0	0	0	**2**	**0**
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	**0**	**0**
	計		1	0	0	0	1	0	0	0	**2**	**0**
合計			**918**	**414**	**362**	**126**	**198**	**78**	**235**	**169**	**1713**	**787**

時間別救急出動件数

区分 ＼ 事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他 転院搬送	その他 医師搬送	その他 資器材搬送	その他 その他	合計
計		**4**	**0**	**0**	**322**	**17**	**7**	**211**	**18**	**41**	**986**	**169**			**1**	**1,776**
時間別内訳	0 ～ 2	0	0	0	13	0	0	6	6	2	53	4			0	**84**
	2 ～ 4	0	0	0	7	3	0	3	1	2	70	1			0	**87**
	4 ～ 6	0	0	0	11	0	0	5	0	1	57	3			0	**77**
	6 ～ 8	1	0	0	26	0	0	11	0	8	72	3			1	**122**
	8 ～10	1	0	0	37	3	1	30	0	2	100	25			0	**199**
	10～12	1	0	0	32	2	0	22	1	5	113	29			0	**205**
	12～14	1	0	0	29	1	1	25	0	5	90	20			0	**172**
	14～16	0	0	0	42	4	2	34	0	3	85	29			0	**199**
	16～18	0	0	0	40	2	1	25	1	3	91	18			0	**181**
	18～20	0	0	0	35	1	0	16	2	2	94	25			0	**175**
	20～22	0	0	0	26	0	2	18	4	2	81	5			0	**138**
	22～24	0	0	0	24	1	0	16	3	6	80	7			0	**137**

救急隊員の行った応急処置

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
対象者 / 処置項目	918	362	198	235	1713
止血	9	71	37	17	134
固定	18	87	48	21	174
人工呼吸	4		1	1	6
心肺蘇生法	34	4	5	5	48
酸素吸入	272	27	19	71	389
気道確保	69	5	9	9	92
うち経鼻エアウェイ	14	1	1	5	21
うち喉頭鏡・鉗子					0
うちラインゲアルマスク等	6		1		7
保温	498	86	80	100	764
被覆	4	54	26	10	94
ショックパンツ					0
除細動					0
在宅療法	6				6
静脈路確保	1				1
血圧測定	780	286	146	173	1385
聴診器	126	12	17	13	168
血中酸素飽和度	864	305	166	187	1522
心電図測定	189	11	10	42	252
その他	375	28	33	52	488
計	3249	976	597	701	1

管内管外搬送別

事故種別 / 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	**合計**
管内に住所を有する者	5	0	0	198	5	7	166	14	21	796	61	**1273**
管外に住所を有する者	0	0	0	164	11	0	31	2	1	116	108	**433**
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	**7**
計	**5**	**0**	**0**	**362**	**16**	**7**	**198**	**16**	**22**	**918**	**169**	**1713**

応急手当普及啓発活動の状況

普通救命講習では中学生や市役所新職員においても講習会を開催しました。

応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱基づく普及講習						その他の講習	
普通救命講習		上級救命講習		合計		受講者	回数
受講人数	回数	受講人数	回数	受講者	回数		
374	14			374	14	581	22

○　普通救命講習・・・主として心肺蘇生を中心に止血法を含め 3 時間のカリキュラムにて行う講習会です。

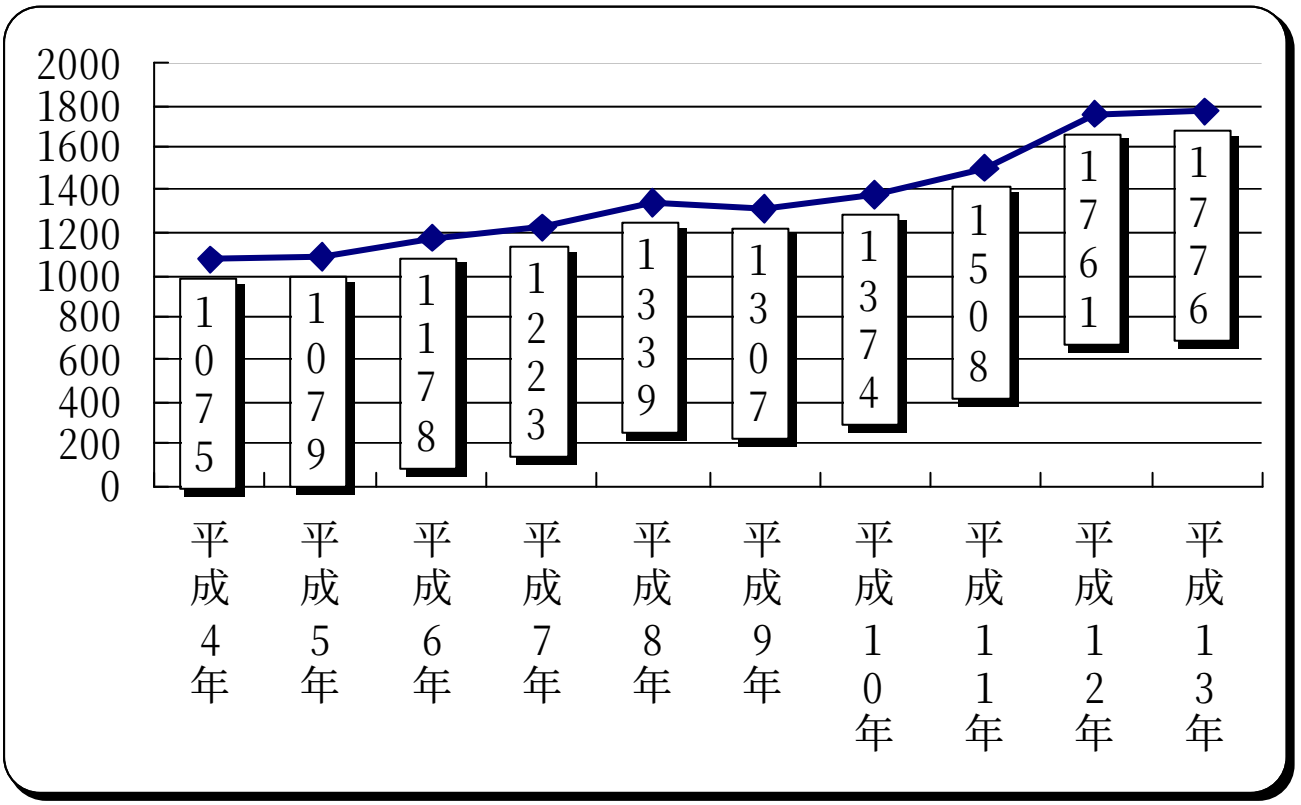
現場到着所要時間別出動件数

現場到着所要時間で５分以上１０分未満が５３１件で平均５分３８秒となっている。

現場到着 / 事故種別	３分未満	３分以上５分未満	５分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	計	現場到着最短所要時間分）	現場到着最長所要時間分）	現場到着平均所要時間（分）
急病	64	315	531	75	1	986	0	20	5,63
交通	49	106	147	20	0	322	0	19	5,01
一般負傷	14	72	113	11	1	211	0	20	5,46
その他	10	54	160	29	4	257	0	36	6,63
計	137	547	951	135	6	1,776			

☆　過去１０年間の蓮田市の救急出動件数

高齢化社会の進む中、健康や安全に対する社会不安はますます増大し、これに伴い救急要請も増加傾向にあります。限りある救急車の有効利用を促す方策とともに、それぞれの活動内容について、自己研鑽を行い、自らの資質を向上させ市民の信頼にこれからも応えるためにも、救急業務の一層の高度化を望みます。



☆ 救助活動状況

救助活動とは、災害に因り生命または身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除することのできない者について、その危険を排除し又は安全な状況に救出することを目的としています。
そのため当消防本部に於いても、少ない資機材の中でより的確且つ効率よく救助活動できるよう日々精進しているところであります。

平成１３年中

区分 / 事故種別		出動件数	活動件数	出動人員	活動人員	救助人員
火災	建物	１５		４７		
	建物以外	１３		３９		
交通事故		２５	１７	８６	５８	１８
水難事故		1		3		
風水害等自然災害						
機械による事故		2	1	4	4	1
建物などによる事故						
ガス及び酸欠事故						
破裂事故						
その他の事故		７２	１９	２２２	６０	２５
計		１２８	３７	４０１	１２２	４４

事故種別・発生場所別活動状況

平成１３年中

発生場所＼事故種別			火災	交通事故	水難事故	自然災害風水災害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	事故その他	合計
屋内	住居										６	６
屋内	その他の屋内										１	１
屋外	道路	高速自動車国道		１								１
屋外	道路	その他の道路		１２							１２	２４
屋外	水面	内水面		２								２
屋外	水面	外水面										
屋外	山岳											
屋外	その他の屋外			２			１					３
地下												
その他												
計				１７			１				１９	３７

事故種別・発生場所別出場状況

平成１３年中

発生場所＼事故種別			火災	交通事故	水難事故	自然災害風水災害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	事故その他	合計
屋内	住居		１２								７	１９
屋内	その他の屋内		４				１				１	６
屋外	道路	高速自動車国道	１	１								２
屋外	道路	その他の道路		１８							５８	７６
屋外	水面	内水面		３	１						１	５
屋外	水面	外水面										
屋外	山岳											
屋外	その他の屋外		１１	３			１				５	２０
地下												
その他												
計			２８	２５	１		２				７２	１２８

事故種別・発生場所別救助人員状況

平成１３年中

発生場所＼事故種別			火災	交通事故	水難事故	自然災害風水災害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	事故その他	合計
屋内	住居										6	6
屋内	その他の屋内										1	1
屋外	道路	高速自動車国道		1								1
屋外	道路	その他の道路		13							18	31
屋外	水面	内水面		2								2
屋外	水面	外水面										
屋外	山岳											
屋外	その他の屋外			2			1					3
地下												
その他												
計				18			1				25	44

☆　消防団

現在蓮田市消防団は、市内在住及び在勤の郷土愛溢れる 150 名によって１本部 6 ヶ分団で構成されています。消防団員は消防職員と異なり、消防以外に仕事を有しているため、火災発生の際には自分の仕事を中断して現場に出動しますし、夜間の就寝中でもサイレンの音で飛び起き、火災現場に駆け付け、消防職員と協力して消火作業に従事します。

消防団員は、皆さんの生命・財産を火災から保護することだけではなく台風や集中豪雨などの風水害や地震等にも出動し、これらの災害による被害の軽減に努めています。

また、災害のないときも、火災予防活動や機械器具の点検・消火栓等の調査などを実施し災害に備え万全を期しています。

消防団の主な行事（平成 13 年度）

平成 13 年	4 月	辞令交付式
		第１回分団長会議
	5 月	新入団員講習会（市立図書館）
	6 月	本部役員会議（第１回）
	7 月	消防団幹部県外研修
		消防団第 2 分団詰所落成式
		第２回分団長会議
		非常招集訓練・第４回スポーツコミュニケーション大会
	8 月	消防団員健康診断
		第３回分団長会議
	9 月	蓮田市防災総合訓練
		普通救命講習会
	10 月	本部役員会議（第２回）
		第４回分団長会議
	11 月	消防特別点検（黒浜西小学校）
		秋季全国一斉火災予防運動
	12 月	第５回分団長会議
		歳末特別警戒
平成 14 年	1 月	消防出初式(黒浜西小学校)
	3 月	消防団家族慰安会（むさしの村）
		春季全国一斉火災予防運動
		第６回分団長会議
		埼玉県消防協会主催幹部研修（埼玉県消防学校）

平成 14 年 1 月 5 日　土曜日
消防出初式…職・団員一同、消防の使命を再確認し、結束を新たに蓮田の防災を誓いました。

消防団構成

平成 14 年 4 月 1 日

分団名	条例数	実員数
団本部	4	4
第 1 分団	22	22
第 2 分団	33	30
第 3 分団	24	24
第 4 分団	24	22
第 5 分団	22	22
第 6 分団	28	26
合計	157	150

分団詰所所在地

分団名	所在地	建築延べ面積（㎡）	敷地面積（㎡）
第 1 分団	東 3 丁目 1‐21	58.66	72.72
第 2 分団	上 2 丁目 13‐2	102.06	340.01
第 3 分団	閏戸 3984‐2	53.62	82.64
第 4 分団	上平野 606‐3	66.6	92.56
第 5 分団	黒浜 3834‐2	66.6	114.3
第 6 分団	黒浜 1132‐3	52.65	99

在職年数別消防団員数

平成 14 年 4 月 1 日

在職年数 分団別	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
本部	4				1	3		
第1分団	22	6	5	4	4	3		
第2分団	30	11	6	4	9			
第3分団	24	11	6	5	2			
第4分団	22	7	9	6				
第5分団	22	6	4	7	5			
第6分団	26	4	9	7	5	1		
合計	150	45	39	33	26	7		

消防自動車配置状況　（消防団）

平成 14 年 4 月 1 日

分団名	車名・型式	ポンプ会社名	ポンプ級別型式	購入年月日	使用年月
第 1 分団	いすゞU-NKR58E2N 改	森　田ポンプ	A－2 級 CD－Ⅰ型	H　２．１１	１０．５
第２分団	いすゞKC-NKR71GN	森　田ポンプ	A－2 級 CD－Ⅰ型	H１０．１０	２．６
第３分団	いすゞU-NKR58E2N 改	森　田ポンプ	A－2 級 CD－Ⅰ型	H　４．１２	８．４
第４分団	いすゞKK-NKR71GN	G　M いちはら	A－2 級 CD－Ⅰ型	H１２．　３	１．１
第 5 分団	いすゞKK-NKR71GN	森　田ポンプ	A－2 級 CD－Ⅰ型	H１４．　２	０．１
第 6 分団	いすゞU-NKR58E2N 改	森　田ポンプ	A－2 級 CD－Ⅰ型	H　４．　３	９．１

「モンペ姿で火災予防？」

消防職員・市職員有志２４人は、８月２５日に開催された市内最大の「はすだ市民まつり・流し踊り」に火災予防啓蒙活動の一環として参加しました。
「火事（家事）を守るモンペ連盟」と称し、白い割烹着や防火法被を着て、モンペ姿で「はすだ踊り」を面白おかしく踊り、また大きな幟‐のぼり‐を掲げ、会場の市民に火災予防の PR を図りました。
「流し踊り」は、コンテストであり多くの市民から拍手と笑いがあり火災予防に大きく貢献でき、審査員からは職員の行動力とアイデアから実行委員長賞を受賞したものです。

編集・発行：蓮田市消防本部 庶務係
TEL：　048-768-1109　（代表）
FAX：　048-768-9937
E-Mail：shoubou@city.hasuda.saitama.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.city.hasuda.saitama.jp/